

# ロボット技術開発・活用

## 懇談会が中長期目標

国交省

### 災害、インフラ老朽化対応で

建設ロボット技術の開発・活用策を議論してきた国土交通省の有識者懇談会は15日、提言をまとめた。建設現場の熟練技能者不足が課題となる中、建設ロボット技術の必要性を示した上で、生産性・安全性向上、災害

対応、インフラ老朽化に対応した長期的な開発や活用の目標を掲げた。技術の高度化へ複数の研究機関が実現を競い合うコンペティション方式の導入も提案した。

大している情報通信技術（ICT）やロボット技術によって、若手が希望を持って建設業界に入職して働くことにも期待を示した。

開発・活用の中長期目標では、例えば、施工自動化で現場の省力化が可能

になるとして、プレキャスト製品の標準化や設計の3次元データに基づき自動で施工する機械の実現を目指すよう提案した。災害対応では、現場調査でリアルタイム映像や地盤・3次元地形情報が取得できるロボットの実

用化を目標に設定。インフラ老朽化では、トンネル内の点検など、点検・補修を迅速に進め、コスト低減や品質確保にも寄与する技術確立を求めた。

導入を提案したコンペでは、物の性能ではなく、与えられたミッションと環境の中でシステム設計の能力を競うことが不可欠とした。建設生産システムの高度化を目指した建設ロボット技術開発に向けて産学官の関係者が参加する情報交換の場を設置。中長期的な重点分野や評価基準の設定などを議論したり、施工者側がニーズを把握して発信したりすることも重要だとした。

#### 【建設ICT】

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1. 日経    | 2. 朝日    | 3. 毎日    |
| 4. 読売    | 5. 朝日    | 6. 中日    |
| 7. 産経    | 8. 朝日    | 9. 伊勢    |
| 10. 中部経済 | 11. 建通   | 12. 日刊工業 |
| 13. 建設通信 | 14. 信濃毎日 | 15. 日本海  |
| 16. 建設工業 |          |          |

平成25年4月16日(朝)・夕) P 2